

令和3年度 茨木市立西河原小学校 学校教育自己診断 (令和4年1月実施)

保護者実施結果		令和4年1月実施			集計結果に対するコメント
(全児童185名 回答率87% 161名)					
アンケート項目	肯定的回答	否定的回答	わからない判断できない		
1	学校は教育活動や方針などを学校だよりや学年だより、ホームページ等でわかりやすく伝えている。	92%	7%	1%	高い肯定的回答で、学校教育へ関心が高いことに感謝いたします。引き続きHPなどで学校教育方針に基づく教育活動をお知らせしてまいります。
2	学校は保護者・地域の願いに応えようとしている。	87%	6%	7%	学校教育目標やめざす子ども像など学校教育方針が保護者・地域の願いを受けてのものであることをご理解いただいていると捉えます。今後も引き続き、PTA活動、地域行事等で学校、家庭、地域連携を深めていきます。
3	学校は家庭への連絡などをきめ細かく行っている。	91%	8%	1%	前回より13ポイント高い肯定的回答でした。コロナ禍で5月の家庭訪問ができていませんが、ミマモルメ、電話、連絡帳での連絡等で連携させていただいていると考えます。
4	学校はいじめの早期発見に関する取組みを行っている。(心のアンケートなど)	70%	9%	21%	担任を中心に全教職員で児童一人ひとり、また児童同士の様子を見守り、気になることなどの情報共有に努めています。また、学期ごとに心のアンケートを取り、それをもとに個人面談をし、いじめの早期発見、未然防止に努めています。
5	学校はいじめが起きないような取組みを行っている。(特別活動や学級活動、道徳)	72%	8%	20%	「友達に良い言葉をかけあおう」と、からかいなどが出ても自分たちでストップさせられるようなクラス集団づくりに努めています。4項同様5項も「判断できない」の回答が2割に達していることを課題ととらえ、今後、いじめの未然防止の取組をHPなどでお知らせします。
6	学校は自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。	78%	7%	15%	「生き方」「将来について」「夢」を考えるキャリア教育を1年から6年まで発達段階に応じてつみあげていきます。また、学期ごとにキャリアパスポートなどで家庭との連携もしてまいります。
7	学校は命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	90%	6%	4%	自分や周りの人の健康を守るための新しいルールを児童はよく守っており、前回より肯定的回答が9ポイント上がりました。ルールやマナーを守る態度の育成は家庭との連携があってこそものと感謝しております。
8	学校は子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	83%	9%	8%	今年度は全学年がLGBTQに関しての出前授業を実施しました。違いを認め合い、ありのままの自分が認められる世の中をつくる子を育てる取組をすすめます。
9	学校は子どもに様々な困難を乗り越えることができる「生きる力」を育てようとしている。	71%	11%	18%	困難を乗り越えるためには、人に助けを求められる「人とつながる力」を育成することも重要と考えます。つながり力育成を重要課題と取り組んでまいります。
10	学校は子どもに体力がつくように、季節ごとに取り組んでいる。	79%	18%	3%	前回より肯定的回答が9ポイント下がりました。緊急事態宣言下等で体育の授業方法の制限が課せられ、夏季休業中の水泳やマラソン週間を実施できませんでした。体力向上の重要性からなわとびに取組んでいますが、コロナ禍の中での体力づくりの取組を研究し、体力向上に取り組んでまいります。
11	学校は子どもに読む力を育むため、読書活動や学校図書館の充実に努めている。	87%	9%	4%	図書館では学習サポーターや図書委員が図書室の本の配架も工夫し、読み聞かせもしています。今後も読書活動に取り組んでいきます。
12	学校は保護者が授業を参観する機会を適切に設けている。	85%	8%	7%	例年4回の参観授業が今年度は緊急事態宣言のため2回実施できず、この設問の肯定的回答は10ポイント下がりました。次年度は例年通りの実施計画です。
13	学校は子どもが保護者や地域の方々と交流する機会を設けている。	77%	13%	10%	コロナのため福祉委員会との交流が中止になりました。感染状況が改善すれば例年どおり「フェスタ」や「昔の遊び」「昔の暮らし」で地域の方との交流を実施する予定です。
14	学習内容について、学年だよりや懇談などによって知ることができる。	94%	4%	2%	高い肯定的回答に学習内容等ご家庭でよく把握して下さっていると、ありがたく思っております。タブレットからも学習内容・理解度などのご確認をお願いします。
15	運動会などの学校行事は、子どもが意欲的に参加できるように工夫されている。	90%	5%	5%	運動会は午前開催でしたが、行事に向けての練習に児童は熱心に取り組みました。前回より肯定的回答が5ポイント上がり、評価いただいたと捉えます。
16	災害時の対応について、児童や保護者にその際の訓練が行われ、周知されている。(児童引き渡し訓練など)	76%	10%	14%	引き渡し訓練は昨年度は1年のみ行い、今月は1年学級閉鎖時引渡しをしましたので、引き渡しは全学年ともしていただいておりますが、引き続き、訓練を重ねたいと思います。なお、「災害時の対応」についてはHPをご覧ください。
17	学校の施設・設備には満足している。	70%	26%	4%	前回同様否定的回答が4分の1をしめました。トイレの洋式化改修工事等、市への依頼を引き続き行います。
18	先生は子どもの能力や達成度を適正に評価している。	89%	7%	4%	前回より改善し、高い肯定的回答でしたが、減ったとはいえ否定的な回答も残っています。子どもの可能性を伸ばすべく、保護者との連携を密にして、能力や達成度の把握に努めます。
19	あゆみには子どもの学力や達成度がわかりやすく書かれている。	87%	11%	2%	毎学期末に配布している「あゆみのみかた」を全教職員で確認しております。どうぞご確認いただき、わかりにくい点は担任までお尋ねください。
20	先生は子どものことについての相談に応じてくれる。	91%	4%	5%	一人ひとりの心に寄り添う教員であるべく努めております。どうぞ、気になることがありましたら、いつでもお電話などでお気軽にご相談ください。
21	先生は子どもをよく理解してくれている。	90%	6%	4%	本校のめざす教師像は教育的愛情のある教師です。引き続き、全教職員が一人ひとりの子の心に寄り添う教員であるべく努めてまいります。
22	子どもは授業がわかりやすいと言っている。	80%	11%	9%	2年間茨木市教育センターの支援教育推進協力校として「わかる授業づくり」の研究をすすめてきました。引き続きどの子どもも「わかった」と思える授業づくりに努めます。
23	子どもは学校へ行くのを楽しんでいる。	87%	11%	2%	コロナ禍で様々な規制がある中ですが、前回より肯定的回答率が5ポイント上がりました。一方否定的な回答が7ポイント減ったものの、残っていることを課題ととらえます。児童間のつながりづくりを大切に、どの子どもも楽しいと思える学校づくりに努めます。
24	あいさつに関して学校での指導が十分されている。	74%	14%	12%	あいさつは人との関係性(つながり)づくりに最も大切な生活習慣です。引き続き児童会活動など楽しく挨拶が習慣化するよう指導を継続します。
25	あいさつに関して家庭での指導も有効だと感じている。	93%	5%	2%	引き続き、ご家庭との連携の上、挨拶指導してまいります。